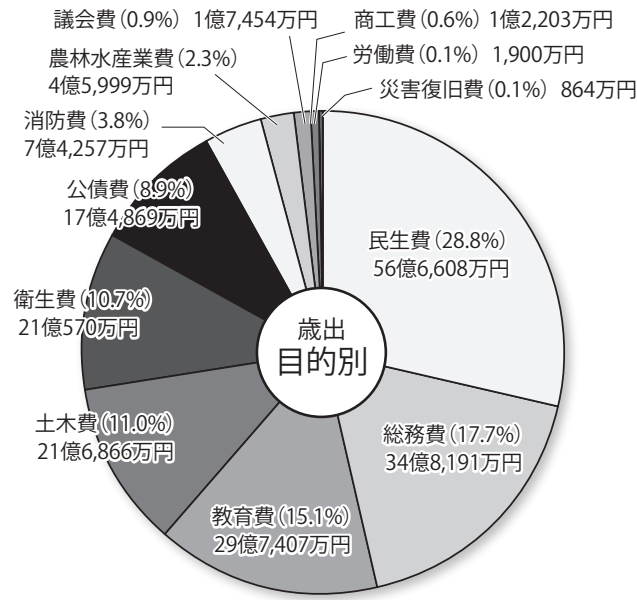
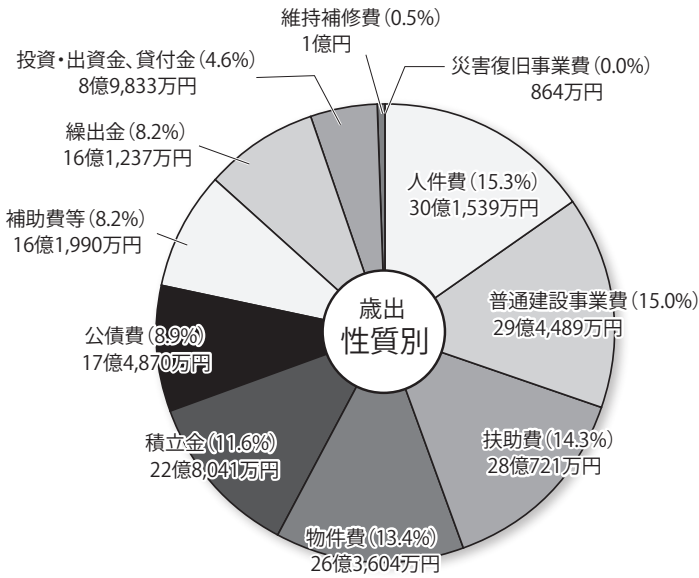
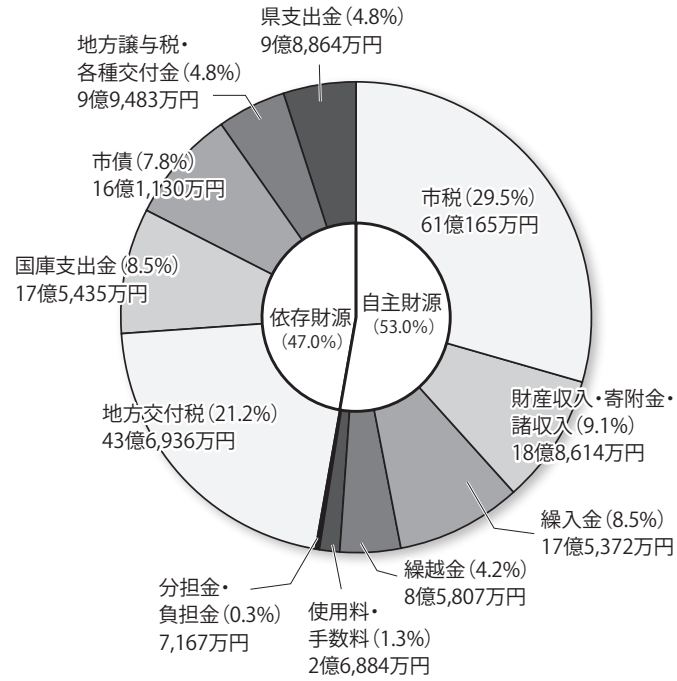


普通会計（一般会計）の内訳

歳出 196 億 7,188 万円



歳入 206 億 5,857 万円



歳入全体は、前年度と比べて17億1,011万円(9.0%)の増額となっています。これは、錦海塩田跡地を活用したメガソーラー事業の事業開始に伴う市税の増加や、ふるさと納税による寄附金の増加が主な要因となっています。

歳出全体では、前年度と比べて15億8,149万円(8.7%)の増額となっています。国庫「太刀無銘一文字(山鳥毛)」の購入費用やふるさと納税の増加に伴う事務費の増、小学校施設整備事業などの普通建設事業費の増が主な要因となっています。

歳出を目的別に分類してみると、子育て支援や高齢者医療などの民生費が全体の28.8%と最も多くを占めています。市債の返済である公債費は8.9%となっています。

また、性質別に分類してみると、人件費が全体の15.3%、児童手当や小児医療費、福祉サービスなどの扶助費が14.3%となっています。

市民1人当たりの歳出額

■市民1人当たりに使われたお金 **529,141円**

| | | | | |
|--------------|-------------|----------------|-------------|-------------|
| 民生費 152,408円 | 総務費 93,658円 | 教育費 79,998円 | 土木費 58,333円 | 衛生費 56,640円 |
| 公債費 47,037円 | 消防費 19,974円 | 農林水産業費 12,373円 | 議会費 4,695円 | 商工費 3,282円 |
| | | | | 労働費 511円 |
| | | | | 災害復旧費 232円 |

※普通会計の歳出が1人当たりいくらかになるのかをR02.3.31現在の人口(37,177人)で算出しています。

令和元年度 瀬戸内市会計決算

令和元年度瀬戸内市会計決算とは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの瀬戸内市の収入と支出の実績のことです。

昨年度、どのくらい収入があり、市のまちづくりにもどのように使われたのか、決算の概要から市の財政状況をお知らせします。

普通会計決算の概要

決算額は黒字
財政調整基金は増額

令和元年度の市の普通会計(一般会計)の決算額は、歳入206億5857万円に対し、歳出196億7188万円、歳入超過額(黒字)は10億8669万円です。

▽会計別決算

| 区分 | 歳入額 万円 | 歳出額 万円 | 差引額 万円 | |
|------|-----------------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 2,068,999 | 1,970,330 | 98,669 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 428,455 | 428,441 | 14 |
| | 国民健康保険診療施設等掛診療所 | 2,397 | 2,377 | 20 |
| | 介護保険 | 435,138 | 428,502 | 6,636 |
| | 後期高齢者医療 | 55,438 | 55,406 | 32 |
| | 土地開発事業 | 5,051 | 1,891 | 3,160 |
| | 企業団地造成事業 | 58,472 | 42,552 | 15,920 |
| | 計(一般会計・特別会計) | 3,053,950 | 2,929,499 | 124,451 |
| 事業会計 | 病院事業会計 | 165,349 | 177,218 | △11,869 |
| | 水道事業会計 | 96,065 | 85,484 | 10,581 |
| | 下水道事業会計 | 91,395 | 129,303 | △37,908 |
| | 計(事業会計) | 352,809 | 392,005 | △39,196 |

※事業会計については、収益的収入および収益的支出を計上しています。

▽財政健全化判断比率など

| 指標 | 市の比率 % | 早期(経営)健全化基準 % | 財政再生基準 % | |
|------------------|-----------|------------------|-------------|-------|
| 経常収支比率 | 82.9 | — | — | |
| 財政健全化判断比率 | 実質赤字比率 | — | 13.20 | 20.00 |
| | 連結実質赤字比率 | — | 18.20 | 30.00 |
| | 実質公債費比率 | 9.5 | 25.0 | 35.0 |
| | 将来負担比率 | 40.7 | 350.0 | — |
| 資金不足比率(公営企業会計ごと) | — | 20.0 | — | |

※「—」は、該当なしを表しています。

財政指標

経常収支比率はやや改善
財政健全化判断比率などは基準をクリア

代表的な財政指標のうち、財政構造の弾力性を判断するための経常収支比率は、82.9%

と3・1ポイント低下しました。これは、市税が大きく増収となったことにより一般財源が増えたことが主な要因となっています。

また、財政健全化法に基づく指標は、いずれも財政の早期健全化が義務付けられる基準を下回っています。実質公債費比率は9.5%と少し改善し、市債発行について県の許可が必要となる18%以下を維持しています。

今後の財政計画

市では、将来の財政状況を見通し、中・長期的な視点に立って財政運営を行うため、今後5年間の財政計画である「瀬戸内市中長期財政計画(令和2～7年度)」を策定しています。

詳細は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

回財政課

☎0869-22-3005
HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/>